

磐越自動車道が開通するまで(郡山～西会津間)

- 昭和48年 ○ 郡山～会津坂下間の基本計画決まる。
- 昭和57年 ○ 猪苗代～会津坂下間の調査が始まる。
- 昭和60年 ○ 猪苗代～会津坂下間の工事計画ができあがる。
- 昭和63年 ○ 会津若松工事事務所がつくられる。
- 平成2年 ○ 猪苗代～会津坂下間の工事が始められる。
- 平成3年 ○ 郡山JCT～磐梯熱海IC間が開通する。
- 平成4年 ○ 磐梯熱海IC～猪苗代磐梯高原IC間が開通する。
- 平成7年 ○ 猪苗代磐梯高原IC～会津坂下IC間が開通する。
- 平成8年 ○ 郡山JCT～いわきJCT間が開通する。
- 平成8年 ○ 会津坂下IC～西会津IC間が開通する。

Q4 とくに苦勞した所は？



- ① 西会津町地区のトンネル工事ではほっているとちゅうで、地下水が出てきてしまい、土や砂が流れて工事ができなくなってしまったこと。
- ② 磐梯町地区からは直径1mから8mもある石がごろごろ出てきて、それをくんだり、運んだりするのに国内にも数台しかない大きな機かいを持ってこなくてはならなかったこと。

「やじろべえ方式」という方法で橋きやく(橋をささえる柱)からやじろべえのように左右にのばしていくんですよ。

磐越道QアンドA

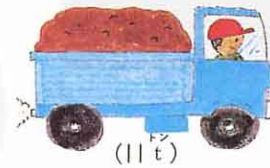
Q1 かった費用は？

2182億円

猪苗代～会津坂下町 936億円
七折トンネル(2358m) 50億円
日橋川橋(203m) 12億4000万円

Q2 もり土に使った土の量は？

750万m³



(11t)

で107万台分

Q3 日橋川橋のつくり方は？

